

平成 23 年度確かな学力向上のための具体的取組 評価

大館市立雪沢小学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」	
①知識・技能の習得	○
②思考力・判断力・表現力の育成	○
③学習意欲・学習習慣	○
「確かな授業力」	
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○

平成 23 年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価 B
基礎学力 ・基本的な学習習慣の定着 ・基礎・基本の確かな習得とその活用を図る学習活動の工夫改善	() 昨年 4 (4)
教師の研修 ・各教科との関連を図った効果的な体験活動の工夫 ・思考力・表現力を育てる言語活動の充実 ・地域の人材・素材の活用によるふるさと教育の充実 ・研究の共通理解と実践の共有化	4 (4)
思いやりの心たくましい心 ・明るいあいさつや正しい言葉遣い ・一人一人の居場所と活躍の場がある学級・学校 ・互いに協力し高め合える学校・学級 ・自分の夢や目標に向かって取り組む場の工夫 ・けじめのある生活や活動 ・自主的な委員会や係活動	4 (4)

共通実践事項	具 体 的 な 取 組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・東中学区小中連携部会での情報交換 ・6 年生の中学校体験入学 ●校内研究会の実施（国語、体育、幼保小連携等） ・他校の授業参観（交流授業、市教研等） ・市教研の各部会等での情報交換と校内への報告 ●他小学校との合同授業や体験活動 	<input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○) <input type="checkbox"/> (▲) <input type="radio"/> (○)	9 / 9 実施予定 ◎他校との交流活動を増やす、児童の表現力を伸ばす。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<p>（国語を中心とした言語活動の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎・基本の確実な習得とその活用を位置付けた授業 ・分かりやすく伝える力の育成 ・単元のつながりを意識した学習計画 ●国語と他教科・領域、行事等との関連を図った学習計画 ・ねらいとゴールを明確にした授業実践 ・朝の学習活動（読書、言葉の学習、視写）の継続 ・昼のパワーアップタイム（モジュール学習、漢字、計算）の充実 ・特別活動における話合い活動の充実 	<input type="radio"/> (○) <input type="checkbox"/> (▲) <input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○) <input type="radio"/> (○)	・家庭との連携を図りながら、一人一人の基礎・基本の習得を確かなものにし、自信と意欲を高めるようにする。 ・小規模校のよさを生かしながら、全校体制で活用力の向上を図るようにする。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)